

音楽研究会 部会記録					
日時	平成30年3月7日(水) 15:30~16:45				
部会名	音楽づくり		主任	吉田 百合子	
参加数	9人	司会	菊地 美保	記録	西 久美子
研究部 研究テーマ：子どもの意識の流れを生かし、音楽能力の高まりを目指した授業のあり方 部会テーマ：一人ひとりの発想を生かし、思いや意図をもって音楽をつくる活動					
研 究 内 容	○実践提案「音楽の仕組みを生かし、簡単な音楽をつくろう」 ～楽器の音色を生かして音楽をつくろう～ 2年生				
	<ul style="list-style-type: none"> ・打楽器の学習を丁寧に行ったことが今回の学習につながった。 ・音楽の約束事は、3年生での「まほうの音楽」につながるよう、“はじめ・なか・おわり”の構成のみを教師から提示した。他には、リズムの工夫、楽器の音色、反復を設定したが、これは子どもから引き出して決定した。学習の中でねらいたいものは教師から出すが、学習の流れの中で子どもたちの思いを大切にすることによって、約束事に縛られすぎず、無理のない学習になった。 ・3時間設定にし、余裕をもって行った方が、よりよい表現や振り返りもできた。 ・モデル演奏を活動の中間に入れ、発表を価値づけしたが、自分たちでつくっているものを大事にしたいという子どもの思いが強く、反復を取り入れるところが少なかった。 (協議) ・事前に、音あそびの中で、曲の盛り上がりや長さを指定して音を重ねる学習をしていたことで、いろいろな楽器に親しむとともに、音楽をつくることを理解して学習できていた。 ・子どもたちから、同じ楽器の友だちと音楽をつくりたいという思いが出てきたのがとてもよい。今までに十分音色を味わってきたからこそその発想だと思う。 ・異なる楽器同士を重ねるよさもあるが、今回のように活動することで、それぞれの楽器の音色の特徴やよさをより感じながら音楽をつくることができたのではないか。 ・2時間扱いの場合、中間でのモデル演奏を提示するタイミングが難しい。今回は第1時の終わりだったが、モデルを聴いてよさを感じても、なかなか第2時には結びつきづらい。一方で、第1時の途中では発表に至るまで時間が足りなかった。 ・子どもたちから反復をしたいという思いが出ていたが、実際に反復のよさを感じて音楽をつくるには、鑑賞の学習に戻り、子どもたちに必要感をもたせたい。 <p>○1年間を振り返って</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて、授業研究会の教材を様々なアプローチ方法を模索し、研究を深めることができた。また、毎月の実践提案での協議を受けた上で、その課題を翌月に提案するという研究方 				

法

がよかった。

・来年度は、引き続きモデル演奏や約束事を大切にする中で、子どもにとって必要感のある、
無

理のないものを提示できるよう研究していきたい。また、他分野、領域との学習のつながり
を

生かした授業づくりをしていきたい。